

# 水車

学校教育目標：「瞳を輝かせ めあてをもって やりぬく金勝っ子」  
 めざす学校：あいさつができる学校 いのちを大切にする学校 うつくしい学校  
 え顔あふれる学校 おもいやりのある学校

## 「季節はうつり、後期へ ～ 心を一つに～」



校長 川那部 隆徳

あんなに校庭を飛び交っていた多くのツバメの姿を見なくなりました。秋本番、そして冬へと季節はうつっていきます。

10月13日の前期終業式では、前期を振り返って、運動会のスローガンであった「一心同体」を取り上げ、「心を一つに」しながら後期からの生活について

子どもたちへ話す機会を得ました。

ツバメの渡りに関して、次のような内容を話しました。

- ・巣立ちをした子ツバメと親鳥は、一時、巣を離れてヨシ原などにねぐらを作って集団で過ごす。その数は、数千から数万羽にも及ぶ。
- ・渡り鳥であるツバメは、ヨシ原で多くのエサを食べて栄養を体に蓄え南へ飛び立つ準備をする。
- ・約2,000km～約5,000kmも離れたフィリピンやベトナム、インドネシアなどの暖かい国へ向う。
- ・1日の移動距離は約300km。海上を飛びながら脳の半分ずつを眠らせて休むことができる。



金勝小学校で育ったツバメたちも、仲間と心を一つに、南の国へ飛び立っていったことでしょう。

来年の春、再び、この地へ無事に帰ってきてくれることを願っています。子どもたちが、自身の自然愛護の心情を高め、金勝の良さや愛着を感じ取ることを期待しています。

次いで、仲間と心を一つにして、前期よりも、もっと素敵なクラス、学年をつくり上げていこうと投げかけました。

その実現には、まず、話し合いが大切で、一人ひとりがどんなクラスにしていきたいのか。そのために、一人ひとりがどう行動していくのか、みんなでどんなことに取り組むのかについて、それぞれのクラスでよく話し合ってみましょう。そして、決めたことを実行していきましょうと話しました。うまくいかないときにも、話し合いを繰り返して乗り越え、生み出していこうと伝えました。

後期からも、本校教育活動に対し、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

### 【お礼】

先日の個別懇談会では、各学級で、お子様の学校での様子を伝えたり、家庭での様子をお聞きしたりすることができ、大変有意義な懇談会となりました。今後も、保護者の皆様とともに、お子様の成長を支えていきたいと思っております。